

先高観強まる半導体関連株の行方（下）



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① SOXが年初来高値を更新

主要な半導体関連銘柄で構成するSOX（フィデリティ半導体株指数）が12日、年初来高値を更新し22年2月以来の水準にまで上昇するなど、半導体関連株を見直す動きが続いています。

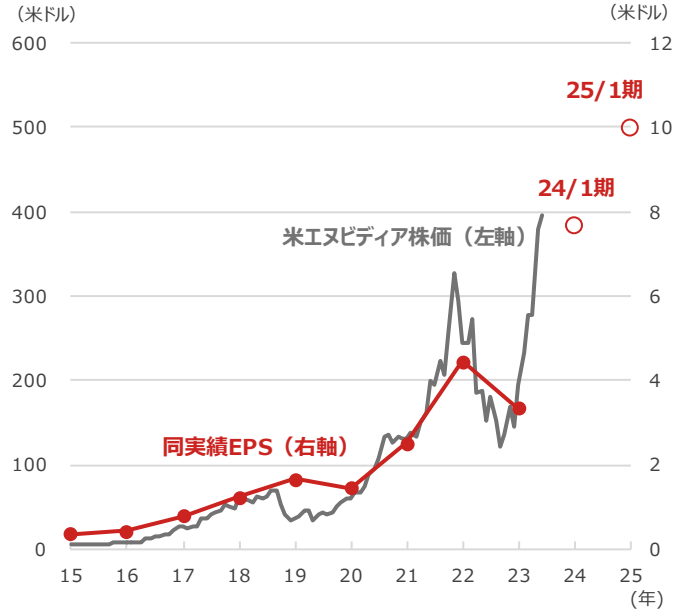
最近のSOXの一段高の原動力となっているのが、米半導体大手エヌビディアの決算発表です。同社が5月24日の決算発表時に示した23年5-7月期の売上高見通しが110億米ドル前後と、市場予想を約5割も上回る内容となりました。業績急回復をけん引するのは生成AI（人工知能）で使用する半導体です。決算説明会で同社CEO（最高経営責任者）は「需要の急増に対応するため、供給を大幅に増やしている」と述べるなど、同社を取り巻く事業環境は好転しているようです。

ポイント② 生成AI市場の成長見通しが追い風に

エヌビディアの決算を受けて、市場では生成AI市場の拡大を背景とした同社の利益成長への期待が高まったことから、同社の株価は5月に史上最高値を更新しました（右上図）。

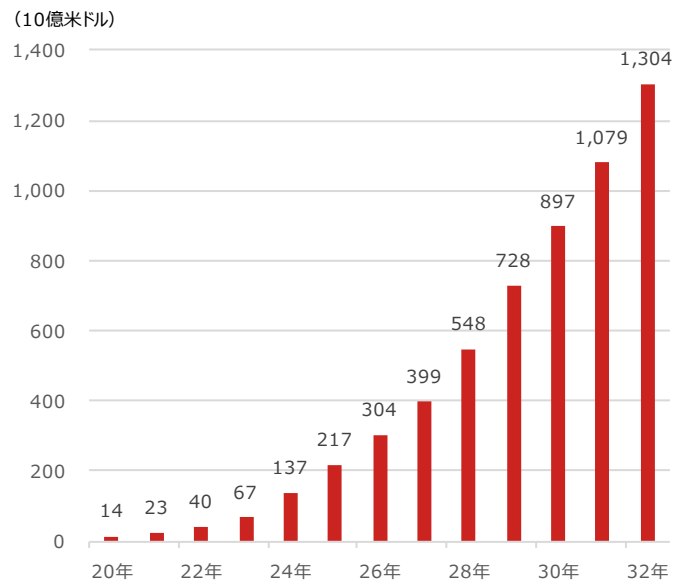
BI（ブルームバーグ・インテリジェンス）によると、オープンAIの「ChatGPT」など、消費者向けAIツールの普及によって、生成AI市場は32年までに売上高ベースで1.3兆米ドル規模と、昨年の400億米ドルから30倍超成長する見通しです（右下図）。エヌビディアのCEOは「企業は生成AI時代に向け、高速化したコンピューティングの導入を競っている」と述べており、生成AI時代到来に向けた動きが企業間で加速しているようです。今後は半導体関連企業の決算で、生成AI市場の伸びへの期待に対し、実際に業績拡大が確認されるかが、持続的な株価上昇を占う上でカギとなりそうです。

米エヌビディアの株価と実績EPS（1株当たり利益）



期間：（米エヌビディア株価）：2015年1月末～2023年6月12日、月次
（同実績EPS）：2015年1月期～2023年1月期、年次
・○印はEPSの2024年1月期、2025年1月期のBloomberg予想（2023年6月12日時点）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

生成AI（人工知能）の市場規模予測



期間：2020年～2032年、年次
・市場規模予測はBloomberg Intelligence
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全体の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。